

お子様が、友人同士で海へ遊びに出かける時は、保護者の方からもご指導をお願いいたします。

北海道では、過去5年に49名の方が遊泳中の事故に遭っており、その約半数が20歳未満です。

遊泳中の事故は、一瞬にして命を落とす危険があります。

特に、体力のある中学・高校生の死亡事故が多く、事故のほとんどが海水浴場以外で発生しています。

事前に情報収集を行い、監視員やライフセーバーがいる開設された「海水浴場」の利用をお願いします。

お子様の元気な「ただいま!」
が聞けるように...

●開設された海水浴場の利用

海水浴場以外では、水上オートバイ等との接触、監視・救助体制が整っていない等の危険があり、海水浴中の事故の9割以上を占めます。

その他、思わぬ事件・事故に巻き込まれる可能性もあります。

●気象・海象等の事前の情報収集

風や波は想像以上の力があり、遊んでいる途中でも変化します。白波が立っていないか、風が強くなっていないか注意が必要です。

天候に応じて、計画の変更も必要です。

●無謀な行動をしない

10代後半では「無謀な行為」が原因の死亡事故が多く発生しています。

海では見た目では分からない強い流れや突然の大波、急な深みがあり、泳ぎが得意でも溺れる危険があります。ライフジャケット等の着用も大切です。

●万が一に備えた連絡体制の確保

万が一に備え、スマホ用の防水パックを使用する等、連絡体制の確保をしてください。海での緊急通報は118番です。

行先、帰宅時刻の確認をし、元気な「ただいま!」が聞けるように...



マリンレジャーの
安全情報が掲載されています。



海上保安官
のいろいろなしごと

北海道教育委員会

第一管区海上保安本部